



西早稲田中だより

新宿区立西早稲田中学校 03(3205)9674

「学びの多様化」

校長 塚本 桂子

サッカーにさほど興味のなかった人でも、ワールドカップ大会での日本代表選手の活躍に元気をもらい、日本中が盛り上がりました。サムライブルーは他国からも大いに称賛されましたので、今後は今以上に日本のサッカー選手が世界を舞台に躍進することでしょう。あきらめずに努力し続けること、仲間を信じて協力し合うこと、多くのことを教えてくれました。帰国後の会見で森保一監督は「新しい時代を見せてくれた」と語っていましたが、サッカーだけではなく時代は刻々と変化をとげています。学校で言えば、国のGIGAスクール構想により、コロナ禍以前は考えられなかった生徒1人1台のタブレット端末が当たり前になりました。EdTech（エドテック）という言葉をご存じでしょうか。Education（教育）とTechnology（テクノロジー）を組み合わせた造語であり、テクノロジーの力で教育に変革をもたらすサービスや技法のことです。ネット環境がもっと整備されないとできないこともあります。このことで今以上に学びが広がっていくことが期待されています。本校でも先生方が工夫を凝らして、テクノロジー（ICT）を活用した授業を展開しています。日本は学習指導要領のおかげで、どこにいても質の高い義務教育を受けることができます。しかしそうは言っても、山間部に住む生徒が都心部の生徒と同じことが学べるかというところもあります。しかし例えば、タブレットを使って互いをつなげることで地域差を解消することができます。もっと言うと外国ともつながることができます。お互いの学びが深まることは間違いないでしょう。また今後多種多様な教材コンテンツが増えていけば、授業以外でも好きな時間に学ぶことが可能になり、学生時代に限らず皆にとって学ぶことが身近になっていくでしょう。少し前には難しいと思われたことが可能になっていく…今回のワールドカップの結果と同じようなことが、様々な分野で起こっています。「学び」の考え方は大きく変化しています。教科学習のみならず「学び＝興味関心＝もっと学びたくなるもの」となり、主体的に学びに向かうことができるよう、一人ひとりが自分にとっての学びの意義を考える必要があると思っています。

校外学習 2年 鎌倉

12月2日（金）に2年生は校外学習として鎌倉に行きました。

昨年度は新型コロナウイルス感染予防の観点からバスで移動をしましたが、今年度は公共交通機関（電車）を用いて移動を行い、生徒が主体となり見学場所や昼食場所を決め活動を行った校外学習になりました。

校外学習の目的は、「修学旅行の準備として、班行動でのコース作りや学習活動などの委員や係活動を通して、生徒の役割に対する責任感とリーダー性を育成すること」、「寺社の見学や交通機関の利用などを通して、公共の場におけるルールやマナーを守る意識を身につけること」、「古都鎌倉の歴史や伝統文化に触れて豊かな情操を養うこと」の3つです。この目的をもとに、実行委員が「つくろう思い出 学ぼう鎌倉 次へ向けてステップアップ」とスローガンを定め、実行委員が中心となり指示を行いながら、班ごとに事前学習や準備を行い、当日を迎えました。

当日は西早稲田中学校でチェックを受け、西早稲田駅から電車で鎌倉駅または北鎌倉駅へ向かい到着のチェックを受けました。その後、各班



で事前に決めたルートで行動し、各班で決めた昼食場所で昼食をとり鎌倉駅で再びチェックを受けた後、班ごとに西早稲田中学校まで帰ってくる行程でした。

事前準備では班ごとに協力してルートを決めました。自分の知らない土地での行動を考えるのは難しい様子でしたが、当日巡回していたところ、生徒達は班で協力して、目的を持って行動している姿が見られ、多くの笑顔もみることができました。後日行ったアンケートでは、97%の生徒が「校外学習を通して「楽しんで学ぶ」ことができた」と回答していました。また、95%の生徒が「ルールやマナーを守ることができた」と回答していました。具体的に良いと思った行動を聞くと「電車で席を譲っていた」や「食事処で「ごちそうさまでした」や「ありがとうございました」と店員さんに伝えられた」、「狭い道ではたて1列で歩くことができた」などがありました。不要物を持ってきた生徒もおらず、きまりを守りながら充実した校外学習になったと思います。

また、校外学習後に「事前に決めたとおりに行動するのが難しかった」という声が多く聞こえましたが、来年度の修学旅行へ向けた課題が明確になったのではないかと思います。

昨年度の校外学習に比べ、班行動や事前学習、事後学習などにおいて成長が見られ嬉しく感じました。この経験を活かし、来年度の修学旅行ではさらなる成長を見せてくれることを期待しております。

(2年 校外学習担当 S)



西早稲田祭

響 ～笑顔と感動を～

11月3日に行われた西早稲田祭、合唱コンクールの部では、西早稲田中生の歌声が響き渡りました。



合唱コンクールの部では、たくさんの練習の成果を存分に発揮し、どのクラスの歌声も聴く人を魅了するような素敵なものでした。部活動発表の部では、日々の活動の積み重ねが、明るく楽しく、素敵な発表につながっていたと思います。生徒の皆さんや先生方の大きな拍手や盛り上がっている姿が印象的でした。今回の西早稲田祭は久しぶりに実施されましたが、大成功だったと思います。今までのたくさんの努力の成果を歌声で届け、スローガンにあるように笑顔と感動であふれるような西早稲田祭になりました。1・2年生の皆さんは伝統を引き継ぎながら、また新しい西早稲田祭を創り上げてほしいと思います。

(実行委員長 3年 M)





“生徒たちのもっている力のすごさ”と“合唱っていいな”と改めて感じる事ができた西早稲田祭でした。

クラス練習が始まった頃はうまく練習が進まなかったり、クラスみんなの気持ちがまとまらなかったりということもありましたが、前向きな言葉がけや仲間を思いながら生徒たち主体で練習を進め、クラス合唱を創り上げることができました。2年間、西早稲田祭を開催できなかったため、この行事を知らない生徒ばかりだったにも関わらず、特に3年生の歌声は、最上級生らしい気持ちの込もったすばらしい歌声でした。久しぶりに校舎内に歌声が響き渡り、みんなで合唱をすることの意味を強く感じました。卒業する3年生にやっと「西早稲田祭」を経験させることができ、本当に良かったと思います。今回のように、目標に向かい、地道に努力を積み上げた時間は、いつか生徒一人一人にとってかけがえないものになると思います。保護者の皆様にも学年毎の入れ替え制ではありましたが、生徒たちの一生懸命な姿を見ていただくことができ、嬉しく思います。ご協力・ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。
(西早稲田祭 担当 S)

* **作品展** 1月21日(土)に予定しています。

1年間の学習の成果をぜひご覧ください。ご来校お待ちしております。

